

実践事例

<楽しい鑑賞>

よく見る・長く見る

謎解き



質問する

経験から引き出せる質問（初心者）

一般的質問 「…これは何？」

誘導する質問 「…を、見てごらん」

「…から、どんなことが解る」

発見・驚き

答えを発見した喜び

話し合いを楽しむ

答えは必ず受け止める

OK、分かった、だけでも安心感を与える

間違った答え → みんなはどう思う？

意見交換を通じて 主観的解釈以外の理解があることに気づく

理解の方法

作者を知る

エピソード紹介

VTR

1. 作品を見る順序を知る

ドラマを見るように

観察・記述
ディスクリプション

素直に、
見えている内容を
説明する

- ①全体を見渡す
- ②中心は？（主役さがし）
目立つ部分はどこか
- ③脇役は？
主役との関係は？
- ④周囲の状況
バック・道具立て
- ⑤意味は？ ← 知識を動員
（分析活動）



「邂逅」 「こんにちはクールベさん」 129 x 149 cm

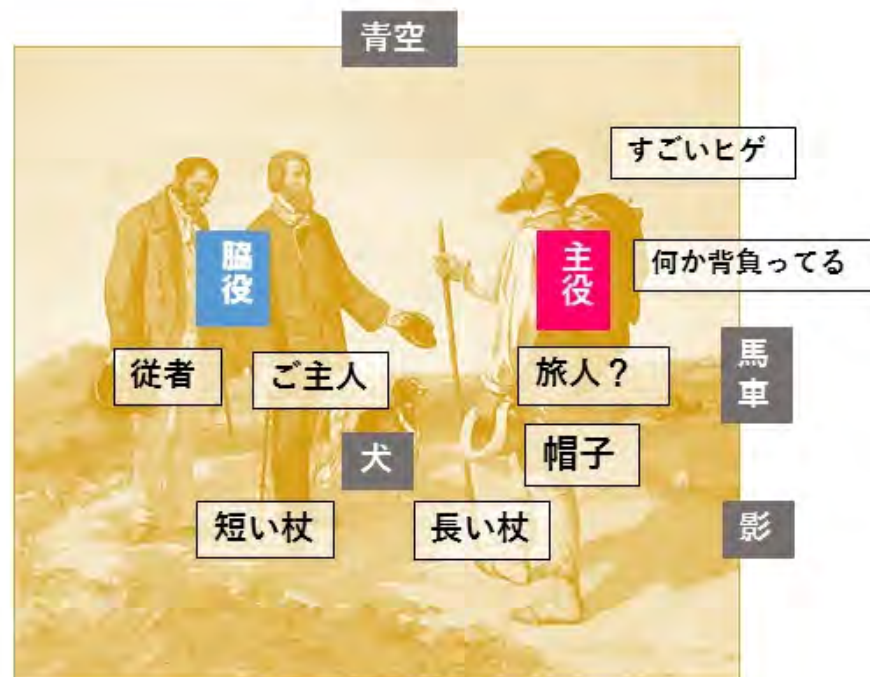
1. 作品を見る順序を知る

ドラマを見るように

観察・記述 ディスクリプション

素直に、
見えている内容を
説明する

- ①全体を見渡す
- ②中心は？（主役さがし）
目立つ部分はどこか
- ③脇役は？
主役との関係は？
- ④周囲の状況
バック・道具立て
- ⑤意味は？ ← 知識を動員
（分析活動）



「邂逅」 「こんにちはクールベさん」 129 x 149 cm



左の人

- ・きちんとした身なり
- ・丁寧な挨拶

右の人

- ・ラフな服装
- ・エラソウな態度
- ・のけぞって横柄な態度
- ・立派なヒゲ
 - 男性の力強さ
 - 地位や権力を象徴

・何を背負ってるの？

1. 作品を見る順序を知る

素直に見えている内容の説明

観察・記述（ディスクリップ）

自然な観察

分析・解明

誘導する質問

●リュックからはみ出してるのは何かな？

↓
三脚じゃないかな

絵描きかな

分析・推理

誘導する質問

●手に持ってるのは何？

↓
帽子だ

↓
挨拶してるんだ

習慣

習慣や文化がちがうと理解不能



"Bonjour Monsieur Courbet"

クールベ 「こんにちはクールベさん」

(邂逅、 出会い、天才に敬礼する財産)

1854年 油彩 129×149cm

- この絵は、クールベの代表作とはいえないけれど、クールベを知るには、なかなか興味深い作品なんだ。
- 右側の杖をついている人がクールベでしょう？
- そう。クールベが**絵具箱を背負って**パリから南仏のモンペリエという町にやって来たところで、**町の銀行家のアルフレッド・ブリュイアス**が犬と一緒にクールベを出迎えている。うしろに**いるのは**使用人だろっね。
- それで『こんにちは、クールベさん』って、挨拶をしているのね。
- 実は、その挨拶なんだけど、**銀行家のブリュイアスはクールベの最大のパトロン(支援者)で、クールベにとっては恩人**ともいえる存在だから、本当は、「こんにちは」と挨拶するのはクールベの方じゃなきゃ、おかしいんだよ。それなのに**クールベは、いやに尊大な態度で**ブリュイアスの挨拶を受け流しているだろっ。なぜかブリュイアスの方が直立不動でかしまっている。
- クールベの方が偉そうにしているのね。
- また、クールベは、この絵に、もう一つの寓意的題名をつけているんだけど、それが**「天才に敬礼する富」**。天才は言うまでもなく自分のことで、富は銀行家のブリュイアス。この題名をつけてサロン(官展)に出品するんだから、なんとも、傲慢無礼、非常識もはなはだしい。
- ということは、クールベは自分の偉大さを誇示するために、この絵を描いたついでということかしら？
- そういうことだね。クールベは、**今世紀最大の巨匠に対して富を象徴する銀行家が敬礼しているという「歴史的現実」**を描きたかったらしい。

1. 作品を見る順序を知る



同時代の木版画『さまよえるユダヤ人』から構図をとっている

エピソード

永遠の罰を受けて、休みなく放浪を続ける人間という伝説

巨匠に対して、富を象徴する銀行家が敬礼している図



パトロン・恩人

銀行家のブリュイアス

画家クールベ

場所は南仏モンペリエ

物語と関連させる

一般的質問

この彫刻は、何を表現してるの

誘導する質問

一番の年寄りは何？

「カレーの市民」

サン=ピエール

ピエール

ジャン・デール

ジャック

ダンドル



悲しみに満ちた顔



不安と焦りを強調



死を恐れぬ強い意思



当惑した様子



悲痛なポーズ



オーギュスト・ロダン
国立西洋美術館(上野)

誘導する質問



「カレーの市民」

「カレーの市民」は、イギリス海峡におけるフランス側の重要な港カレーが、一年以上にわたってイギリス軍に包囲されていた際の出来事に基づいて作られている。

飢餓のため町は降伏交渉を余儀なくされたのである。エドワード王は、町の主要メンバー6人が自分の元へ出頭すれば町の人々は救うと持ちかけたが、それは6人の処刑を意味していた。

エドワード王は6人が、裸に近い格好で首に縄を巻き、城門の鍵を持って歩いてくるよう要求したのである。

やせ衰えた6人は町の城門へと歩いた。まさにこの、敗北、英雄的自己犠牲、死に直面した恐怖の交錯する瞬間をロダンは捉え、強調し、迫力ある群像を作り出したのである。

歴史的には、処刑が予測された6人の命は、エドワード王妃の嘆願により助命された。彼女は、生まれてくる子どもに殺戮は悪い前兆となると言って夫を説き伏せたのである。

イギリス・フランス間の百年戦争(1337~1453)のエピソードをもとに制作



史実を伝える記念碑

共同体のために犠牲となる、個人を越えた象徴

模範的な行為が倫理的な態度の象徴となる

国立西洋美術館(東京)、静岡県立美術館、大原美術館

エピソードを通じて
ロダンを知る

依頼者 → 作家の制作 → 設置に至る「物語り」



記念碑設立委員会 1884年
サン=ピエールの像
だけをロダンに依頼

市側は勇ましい英雄的な姿を想定

市議会

1895 設置
(7年後)

誰が主人公かわからないという批判

理解できずに拒否

高い台座上に設置し続けた

ロダン

1925年
(30年後)

感動的なエピソードは
6人の集団によるもの

市民を英雄的表現ではなく、むしろ
陰気で疲れきった姿として描き出した

1888完成 鑑賞者と同じ
地面の高さに展示したい

地面の高さに設置

主役



第1 試作



第2 試作

サン=ピエール

主役



世界に12体

実践事例 <楽しい鑑賞>

よく見る・長く見る

謎解き →

話し合いを楽しむ

理解の方法

質問する
 経験から引き出せる質問 (初心者)
 一般的質問 「…これは何？」
 誘導する質問 「…を、見てごらん」
 「…から、どんなことが解る」

発見・驚き
 答えを発見した喜び

答えは必ず受け止める
 OK、分かった、だけでも安心感を与える
 間違った答え → みんなはどう思う？
 意見交換を通じて 主観的解釈以外の理解があることに気づく

作者を知る エピソード紹介 VTR

生徒



教師

<批評的知識>

作者の考え
 制作の背景 作者紹介
 社会状況 制約

何が違うの？

比較法

比較対象間の
同一性と差異性に注目
して対象の特徴を知る



ヤン・ブリューゲル

1630 頃



カルフ

1656



ポージャン

1630 頃

2. 比較して見る

西洋静物画のType

比較法

比較対象間の
同一性と差異性に注目
して対象の特徴を知る

1、理想的



フィクション

カタログ的な花の絵

ヤン・ブリューゲル

2、豪華（迫真的）



ビジュアルな興味

カルフ

3、寓意的



赤ワインがキリストの血

花=嗅覚

パン=味覚

鏡=視覚

リュート=聴覚

トランプ・巾着=触覚

隠れた主題

ポージャン

何が違うの？

日本の花鳥図



「四季花鳥図」 狩野元信

西洋静物画



「赤エイ」 シャルダン 1725 頃



京都・妙心寺：花鳥図

何が違うの？

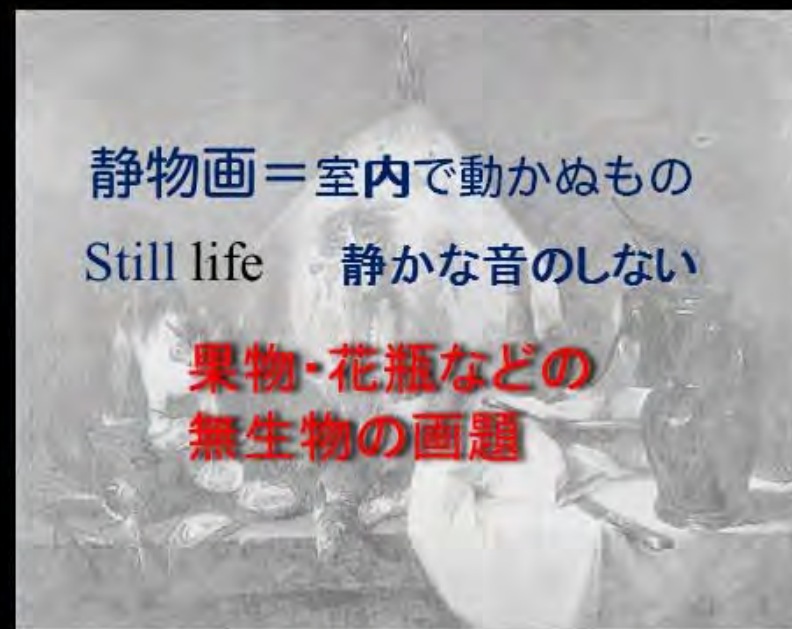
自然感のちがい

日本の花鳥画



「四季花鳥図」 狩野元信

西洋静物画



静物画 = 室内で動かぬもの
Still life 静かな音のしない

果物・花瓶などの
無生物の画題

「赤エイ」 シャルダン 1725 頃

東洋 と 西洋



牧谿筆の《老子像》

南宋→足利義満→徳川家康→紀州徳川家と伝来した「東山御物」



モナリザ



2. 比較して見る

東洋 と 西洋

すごい鼻毛
長い爪
へたくそ

輪郭線がある

影がナイ

平面的



図画



内的イメージ

牧谿筆の《老子像》



対象の実現

モナリザ

リアル
写真のよう
上手だ

輪郭線がない

影がある

立体的

2. 比較して見る

リアル・写真のよう

内的イメージ

すごい鼻毛
 長い爪
 へたくそ

輪郭線がある

影がナイ

平面的



16~19世紀の西洋

なぜ解き

3. 絵画のルールを考える

サロンからの拒絶

最も嫌われた
T.ルソーの風景画

ルソーの作品には中傷が浴びせられ、
十数年もの間、
サロンに入選できなかった。

〈落選の大画家〉



Théodore Rousseau
1812~67



お前なんか、絶対に入選させてやらない！

なぜ解き

3. 絵画のルールを考える

お前なんか、
絶対に
入選させてやらない！
なぜ??



Landscape Study ("La Source"). 1830

なぜ解き



The Valley of St-Vincent probably 1830



C. Corot
Cathédrale Notre-Dame de Chartres 1840

なぜ解き

3. 絵画のルールを考える

お前なんか、絶対に入選させてやらない！



彼は、最初の純粹に自然主義的作家であった

見えるままに描くことの生々しさを、
下品である とされた

サロンからの拒絶 **革新的すぎた！**

1848年 革命政府により復活



必ず人間を入れるルール

神 > 人間 > **自然**

<p>①イタリア</p> <p>理想的風景画</p> <p>良いとこ取りの都市風景</p> <p>ヤニ色</p>	<p>②オランダ</p> <p>自然主義的風景画</p> <p>自然をネタにドラマを演じる</p> <p>明るい空</p>
<p>③イギリス</p> <p>牧歌的風景画</p> <p>自然を素直に愛でる姿勢</p> <p>明るい緑</p>	<p>④フランス</p> <p>自由・自然・戸外</p> <p>今日的、ふつうの風景画</p>

3. 絵画のルールを考える

アカデミズム絵画



アカデミー会長

ブーグロー 1825~1905

官能的で優美な裸婦像が得意



生涯にわたる一貫した美への追究

絵画において私は理想主義者である。
 私は芸術に美しか見ない。
 芸術は美だ。
 なぜ自然の中の醜いものを再現するのだろう。
 私はその必要性を全くみとめない

後の印象派の画家たちの、サロン出品作をことごとく落選させていたのがこのブーグロー

独創性なんていらぬ

オリジナリティという概念は、19世紀はじめ以前にはほとんど無かった。師匠と同じ、それ以上に「上手に」描くことにあった



ブーグロー 「Springtime」
1886 215 x 117 cm

ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる

近代絵画は、ここからスタートした



ノーベル美術賞
第1号



セザンヌ
ここがヘンだ



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる



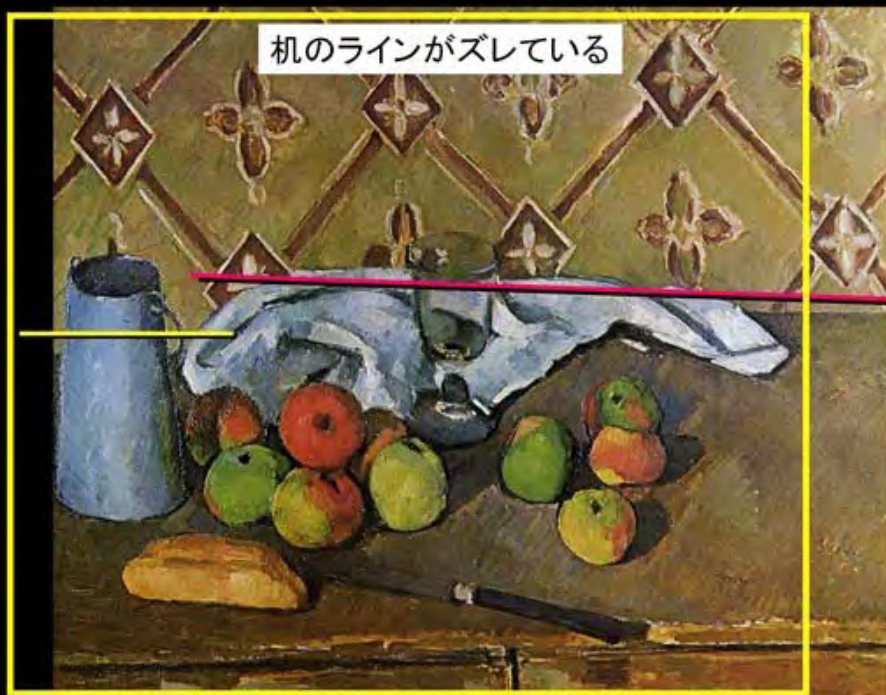
「さくらんぼと桃」

1883



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる



「さくらんぼと桃」

1883



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる



「さくらんぼと桃」

1883



ヘンなところ

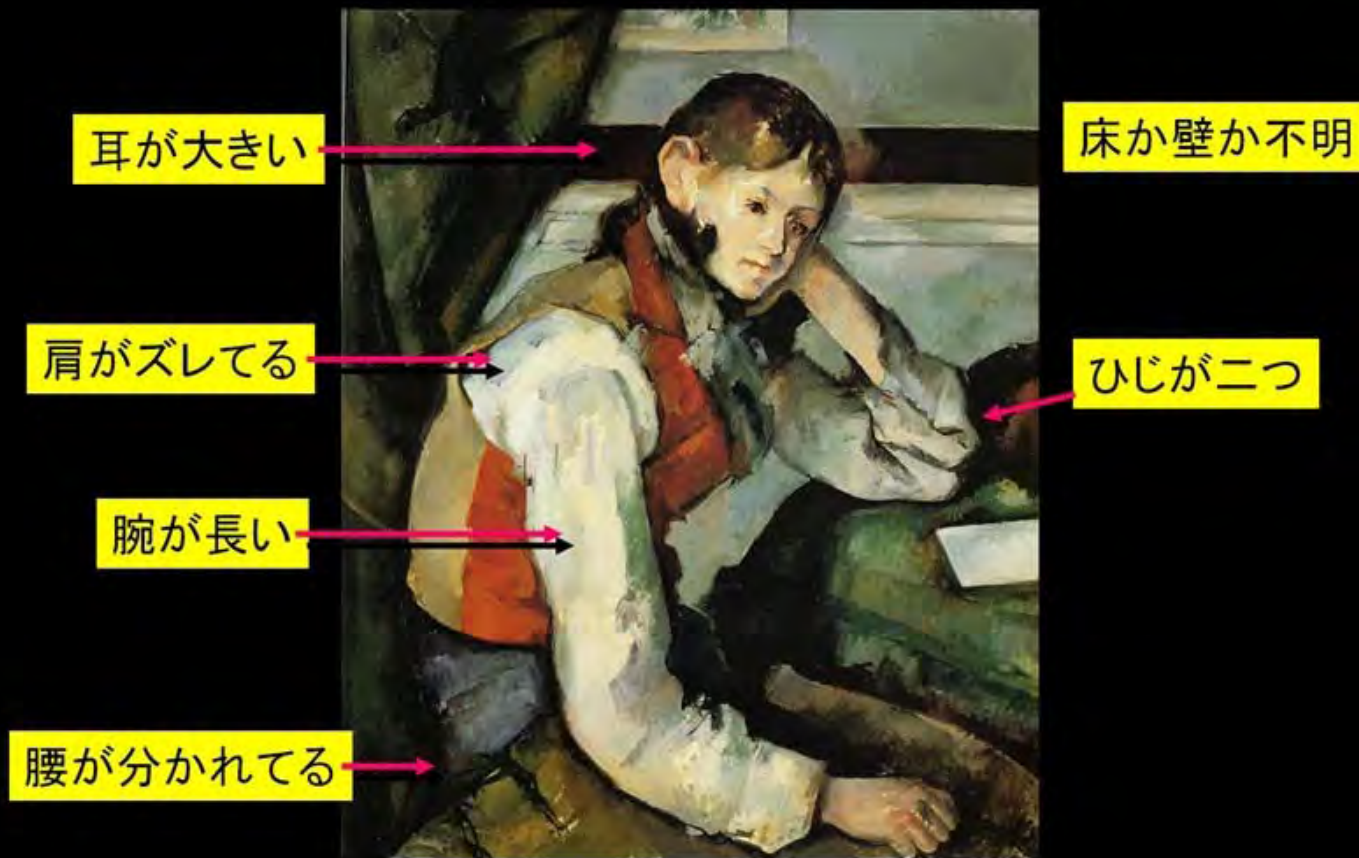
4. 造形心理に気づかせる

「赤いチヨッキの少年」

1890



4. 造形心理に気づかせる



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる

セザンヌは、なぜ傾けたのか？



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる

セザンヌは、なぜ傾けたのか？



ホメオスタシス Homeostasis

(恒常性維持)(均衡状態への復帰)(刺激の軽減)

均衡状態 = 水平・垂直・中心

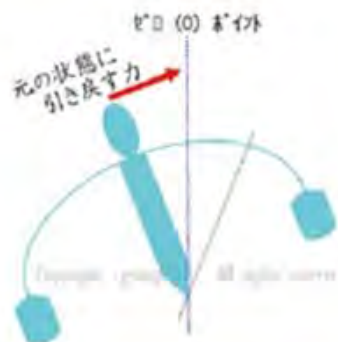
テンションは、 快感の発生メカニズム

脳内では、快感物質ドーパミンやノルアドレナリンが分泌されている

全く変化がない状態では、神経の興奮が生じにくく快感も生じがたい。



画面にテンションが生まれている



環境の変化に対して自分の体内環境を「ある一定の範囲に保とうとする」する
元の状態に戻そうとする働きすなわち
“生じた変化を打ち消す働き”を指す現象

Homeostasis

環境の変化に対して、自分の体をある一定の範囲に保とうとする。命の管理のための自動的な装置。無自覚・無意識

ヘンなところ

左傾斜のわけ

4. 造形心理に気づかせる



視線は「左」から「右」へ方向をもつ

+

A

+

B



フラアンジェリコ「受胎告知」



ヘンなところ

4. 造形心理に気づかせる

大きさの恒常性

セザンヌ＝モノの**存在感**を出したい
モチーフの「リアリティ」



近代絵画は、ここからスタートした

人間の知覚と
カメラとは
違うだろ！！

透視図法への疑問

恒常性を復活

人間が本来持っている
見ることの原則

セザンヌ



19世紀までの絵画

色の恒常性



空気遠近法

遠いものは
コントラストが弱まる
青みが増す



セザンヌが捨てたもの

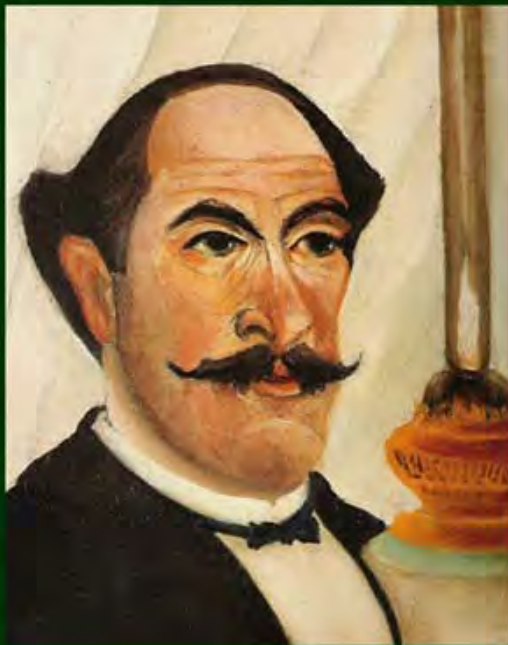


ヘンなところ

5. ヘタウマの元祖

ヘタウマの

先駆者 H・R



自画像

1902



岩の上の子供

1895頃
50歳



ヘンなところ

5. ヘタウマの元祖

ルソー



「私自身、肖像Ⅱ風景」

1890

ヘンなところ

5. ヘタウマの元祖



5. ヘタウマの元祖



①



②

若い順に並べる



③



④



⑤

5. ヘタウマの元祖



1904



1894



1908



40歳

1886



1890

ヘンなところ

社会意識を絵画的造形にむすびつけたヘタウマ

ベン・シャーン

「Allegory (寓意、たとえ、象徴)」



黒人労働者ヒックマンの4人の子供たちは焼かれて死んだ。
「白人家主」が、より高い賃貸料を得るため、
建物のアパートを改造しようとした。
立ち退きを拒んだ中、家主が火をつけたのだった。
それは、貧しい人々に襲われる同様の災害のうちの1つ過ぎなかった。

4人の死者のためにヒックマンは家主を「撃った」
ヒックマンは家主を殺害した罪で有罪判決をうけた。
誰が本当の犯罪者であるか。

多くの支援者を得てヒックマンは救われた。
保護観察で自由になった。



ローマルスとレムス



Use art and artifacts to explore history and teach language arts concepts. Cross-curricular lesson plans at McQuillen Studios www.charlesmcquillen.com

ヘンなところ

いろんな **ヘタウマ**

うま ウマ

高い技術力 味がある
リアル 魅力的



<情報量100%>



対象の実現
写真的イメージ



国吉康雄 「果物を盗む少年」



萬鉄五郎



「夢」



熊谷守一

1975 文化勲章



中川一政

洋画・水墨画・版画・陶芸
詩作・和歌・随筆・書



美術感想文による指導

目的

よく見る・長く見る

教養を高める＝言葉を習得する

主に右の四つに分類される。

感想文による美的言語の育成 (詩的)

- 1、知識力 たくさん言葉を覚えること
- 2、構成力 覚えた言葉を巧みに構成する
- 3、想像力 言語外言語での関係を構築する
顔の表情、顔色、視線、身振り、手振り、体の姿勢
- 4、美的感覚 言葉の持つ芸術的要素



彼女はたどり着く先である家をじっと、強い
眼差しで見つめていたのでしよう。クリス
ティーナさんの背中と大地を踏みしめる手に
込められた力強さと、彼女の屈強な精神が描
かれている素敵な絵です。

ら・・・

しかし、この推測には疑問があります。この
絵の空の色を見てください。灰色で雲が低

く、今にも雨が降りそうです。私でした
うか。
曇り空、広い草原の中、一人の女性が座っ
ています。絵の奥には大きな家と小屋が見え
ます。この絵の題名は『クリスティーナの世
界』と言うのですから、おそらく座っている
女性がクリスティーナさんでしょう。黒髪が
素敵ですね。風が少し吹いているらしく、お
くれ髪が風に乗ってより一層、彼女の髪の色
が強調されているように見えます。ピンクの
ワンピースが爽やかです。半袖ということは
夏でしょうか。しかし、草原の色は緑ではな
く黄金色ですから、秋ぐらいになるのでは
うか。

学生の感想文より

美術感想文による指導

① 連想

② 好き嫌い

③ 客観性が強い感想

④ 疑問

⑤ 自問自答

① 連想

クリスティーナは、きっと走って自分の家から飛び出してきたのだ。「はあ、疲れた...」と言っているような気がする。何か家でいやなことがあって抜け出してきたのだ。恋人となにかいざこざがあって逃げ出してきたのかも知れない。...

この女性は病気でかなり重症です。だんだん視力がなくなってしまう。体調が悪くなり誰かに助けを求めているけれど、携帯もないので誰にも気づいてもらえません。この女性の病気を治す治療費が高いため家族に捨てられたのかも知れません。この家は放蕩をしていたので彼女は家族に騙されてこの草原に連れてこられたのでしょ。...

③ 客観性

- － 髪の毛がほつれている → 風が吹いているんだ。
- － 秋のようなのに半そでで寒そうだ。
- － 左側の家には屋根が無い。煙突に煙が出ていない留守のようだ。
 - － 柵があるのに動物がいない。家畜がいない。
- － タイヤの跡が見える。

④ 疑問

- － どうしてこの女性は一人でこの場所にいるのでしょうか？
- － この女性は体の弱い女性なのでしょうか？
- － もしかしたらこの女性は家族がいないのでしょうか？

⑤ 自問自答

- － なぜそんな無理をした体勢なのか？ 寝転がっていて体を起こしたからなのか。もしかしたらこの人物は足が不自由で立てないし歩けないのではないだろうか。



美術感想文による指導

アンドリュー・ワイエス 「アメリカ美術の歴史」
「クリスチーナの世界」 PARCO出版

背を向けた**びっこの少女**が丘の上の農家を目指して荒涼とした斜面を**いざり登って行く**。

彼女が必死になって、這い登ろうとしている丘の斜面をその肩越しに見あげる時、われわれは彼女の目を通して**この世界**を見ているのである。この丘を登るのは実際以上に骨が折れるように思われるし、広い斜面は心を挫けさせるほど寂しく感じられる。

この世界は実際にオルソン家のクリスチーナと弟が住んでいたメイン州の農場を描いたものである。

ワイエスは、台所で車椅子を使わずに這っている彼女を見て、野原に置いてみようと考えた。後ろ姿に描くことで、彼女の眼が見ている世界を、鑑賞者にも見てほしい思ったのだろう。



美術「感想文」を書いてみましょう

基本は感想



芥川賞作家の美術感想文 ピカソ「サルタンバック」

ブリジストン美術館蔵

赤瀬川原平

◆「父が消えた」 1981年芥川賞

◆「千円札裁判」 懲役3カ月 執行猶予1年

不思議な人物像だ、人物像ではあるけど、それ以前にピカソの絵である。ピカソの絵がたまたま人物像の形をしている、そういう妙な印象を受ける。
赤い色を使っているけど、**ひんやりと冷たい**。その冷たさが気持ちいい。
ぼくはいわゆる金持ちになったことはないが、**お金持ちの持っている一種の冷たさ**、冷たさといって悪ければ一種の冷静が、この絵の感じなのだろうかと思ったりする。変なたとえになってしまった。
非常に**明晰な印象**を受けるのである。きつちりとつじつまを合わせているわけではない。端がばらばらとほどけていて、少しほつれたりしている。でもそれはそれとして、この絵を貫いている主軸は明晰である。

人物を描いているけど、人物の描写ではないのだ。・・・
そのくせこの人物は目が生きています。じつと確実に何かを見ている。でも見ているのはマナコだけで、そこに繋がる頭の中では別のことを考えている。だから困るのだ。

・・・
ぼくにお金があったら自分で買いたい、と思った。

ぼくは買いたいが、そうでもないが、というのを絵を見る尺度にしている。もちろんとても、そんな何億もの大金はない。でももし大金があれば、それを支払う用意はある。いざというときには好きな絵を買う準備だけはしておかないといけない。というのは半分叶わぬ冗談ではあるのだけど、それがいちばんよい絵の見方だと思っている。

「線を使った不思議な手法」

この絵は明晰な空気の中に不思議さが含まれている。不思議さの一番は、背景の壁に残されている。いる人物らしきデッサンの跡だ。・・・

・・・
その**とりあえずの感じが気持ちいい**。

・・・
そしていちばん好きなのが、壁の曲がり角のところで、二つの二本線の間を繋ぐちよつとしたS字形の曲線。そのわずかな表現に**じつに愛嬌がある**。

ピカソだなあと思う。それもヨーロッパ人のピカソだなあと思うのである。

この絵は線の絵なのだ。いわば抽象の線であって、対象を見ながらの描写の線ではないのである。

筆を置いたとき、気持ちよかっただろうと想像する。すーっと神靈に変わったような気分になって、そのすぐ後にはもう次のキャンパスに向かっていたのだろう。



「日本にある世界の名画入門」



感想文の書き方

■感想文とは、自分の気持ちを説明することです

- “素直に感想を文章にしてみたところ、ひとことで終わった、それじゃあ少ないかなとがんばって2行書いた”
美術感想文の肝と言えるのは、最初の誰でも書ける、ほんのひとことや2行程度ですんでしまうような感想や気持ちからスタートして文章を作っていくことです。
- 最初に抱いた感想以上に、無理に感想をしぼりだそうとするから苦しんでしまうのです！しぼり出さなくてOK！それをネタに文章を作っていくのですから！その最初抱いた、ほんのひとことだった短い感想を、細かくかみくだいて文章化するのが大事なのです！
- 大事なのは、もっと感想を感じるということではありません。ムリにしぼりだすことでもありません。ささやかに感じた感想（気持ち）を文章化していく、ということです。ほんのひとことで表現しておわっちゃうような、感想というより気持ち？をネタに、文章を書いていくという方が正しいでしょうか。
- 「すごい」というのを違う言葉にしたら、どう表現できるか・・・など、細かくかみくだいていくことなのです。これは単にむだな表現を増やして、字数稼ぎをする、というのとは違います。
- 感想文は「感想文」なのであって「作品紹介」ではありません!!! 本当によくある例に、400字詰め原稿用紙3枚の感想文のうち、2枚半があらずじ、最後にこの本を読んでおもしろかったです、というほんの少しの感想がついて終わり、というパターンを見かけます。これは絶対にダメです!!

ヘンなところ

ヘンなところを使って、物語を語らせる

魂の故郷

「ロシアに、ロバに、その他のものに」



1911

「彼女を巡って」



1945

シャガールの真実

物語を語らせるのに、適した作品



ワッツ「希望」



一本残った弦



ヒューゴ・シンベリ『傷ついた天使』



スノードロップ



シャバンヌ「悲しき漁夫」



ベラスケス「ラス・メニーナス」



鏡の中（王と王妃）

四字熟語
「慧可断臂」
強い決意をしめすこと



慧可断臂図

